

平成22年度（第4期事業年度）決算の概要について

平成23年9月14日

北海道公立大学法人 札幌医科大学

1 はじめに

本学は、平成19年4月に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、第4期目の財務諸表について平成23年9月5日付けで、設置者である北海道知事の承認を受けました。

この財務諸表は、企業会計原則を基本にしつつ、公立大学法人特有の会計制度を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、本学の財政状況と運営状況を示すものであります。

(注) 財務諸表は、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類、行政サービス実施コスト計算書及び附属明細書で構成しています。

2 財務諸表の概要について

(1) 財政状況

平成23年3月31日現在における本学の財政状況は、次のとおりです。

(資産)

資産の合計額は、約499億円（対前期7億9千万円増）で、うち、土地、建物、工具器具备品等の固定資産が約420億4千万円、現金及び預金等の流動資産が約78億6千万円です。

(負債)

負債の合計額は、約125億3千万円（対前期1億6千万円増）で、うち、資産見返負債、長期借入金等の固定負債が約61億6千万円、未払金等の流動負債が約63億6千万円です。

(純資産)

純資産の合計額は、約373億6千万円（対前期6億3千万円増）で、うち、北海道からの出資金である資本金が345億8千万円、利益剰余金が約34億円です。

(2) 運営状況

平成22年度における本学の運営状況は、次のとおりです。

(費用)

経常費用は、約289億8千万円で、主なものとして診療経費が115億2千万円、人件費が約144億3千万円です。

診療経費については、対前期3億2千万円増となっていますが、入院と外来患者の増加などで、医薬材料費や委託費用等が増加したことによるものです。

人件費は、対前期1億1千万円減となっていますが、これは退職者の減少に伴

う退職手当支給額の減少や職員給与縮減による減少によるものです。

(収益)

経常収益は、約300億円で、主なものとして、北海道から交付された運営費交付金の収益が約62億5千万円、授業料等の収益が約8億6千万円、附属病院の診療等の収益が約207億7千万円です。

(損益)

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、約10億1千万円（対前期7億4千万円増）です。

経常利益については、病院の入院・外来患者の増や診療報酬のプラス改定などによる診療収益が増加したことにより、対前期と比べて増加しています。

なお、受託研究費など外部資金の獲得による教育研究経費への財源の確保についても、引き続き努めているところであります。

(総利益)

当期総利益は、約10億2千万円です。うち、約4億4千万円については、経営努力の結果として中期計画に定めた使途に充てるための「教育・研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善目的積立金」に積み立てることとして、今回、北海道知事の承認を受けております。

3 おわりに

今後も、北海道から交付される運営費交付金は毎年減額される見込みとなっており、依然として厳しい財政運営が予想されます。このような厳しい環境ではありますが、教育・研究・診療活動の充実・発展のため、より一層の経営努力を行い、財務内容の改善・充実に努めて参りますので、今後ともご支援とご理解を賜りますようお願いいたします。